

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 子宮体癌及び子宮内膜異型増殖症の妊孕性温存における分子遺伝学的変異の影響に関する研究

研究の目的

子宮体癌やその前駆病変である子宮内膜異型増殖症において、悪性度の低いグレードや初期であれば、妊孕性を温存する目的でホルモン療法を行うことがあります。しかし、ホルモン療法は一定の確率で癌の再発をきたしてしまいます。本研究では子宮体癌の再発に影響を及ぼす遺伝子(p53, POLE, MMR)等の変異が上記疾患のホルモン療法の奏効に影響があるのかを調べることを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日～2026年12月31日

対象となる方： 2011年1月1日から2024年12月31日までの期間に当院産科婦人科で子宮体癌類内膜腺癌 G1 期もしくは子宮内膜異型増殖症と診断され、妊孕性温存目的に高容量 MPA 療法を行った患者様。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

当院で行った子宮内膜組織診の検体を使用し、POLE, p53, MMR の遺伝子変異の有無を調べます。また、電子カルテから当院での治療内容やその後の予後(再発の有無)についての情報を調べます。子宮全摘を行った方に関しては、手術検体を用いて同様の検査を行う可能性があります。

本研究は過去の検体を用いる研究であり、新たに侵襲を受けることはありません。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	産科婦人科学講座 教授 横山良仁 TEL:0172-39-5107
-------	-----------------------------------